

一般質問



もっと詳しく!!

もっと詳しく学校問題、福祉施策、環境問題... etc聞かせてちょうだい。

9月11、12、13日の本会議では、延べ21人の議員が質疑・一般質問を行い、議案や市政全般にわたり活発な質問が行われました。

農地・水・環境 保全向上対策

Q この対策は、農林水産省が300億円の

予算で取り組む事業で、地域ぐるみの活動として担い手だけでは地域農業が守れないために、農地や水路といった農村資源の保全に向け、地域住民全体が参加する共同活動と環境に優しい営農活動を支援する対策①対象面積と対象区域の決定のとりまとめ状況は。②農用地と農用地外の区分について、市の出た資料との食い違いがあると聞く、丁寧な確認作業をお願いする。③補助金は、農用地10㍍当たり4,400円で、市全体で年間1億4,400万円と非常に大きな事業。約3,600万円の市の負担は大丈夫なのか、国に交付税の支援を求めるべきではないか。

A ①平成19年度の実施

に向け、加西市全域に対し説明会を実施しました。対象集落数は114集落で、事業参加の回答は110集落です。②面積の食い違い

につきましましては、各町の責任者の方と十分協議し、確認しながら面積確定をしていきたい。③財政難ではありますが農家を取り巻く状況は非常に厳しく、地域で農地・水・環境良好な保全と質的向上を図るため実施の方向で進めています。国・県からも当該事業の負担分の軽減、地代措置等の施策もあるように聞くが、今後も要望を重ねていきたい。この共同活動の中で施設の点検、またきめ細かな補修、保全の役割、破損部分のこまめな補修による用配水路施設の延命化が図られることにより、5年後、10年度のは場事業等の用排水路の更新事業の市負担が大きく軽減され、事業効果は大きいと考えます。

市主催による 大会等の見直し

Q 市では毎年多くの大会などが行われているが、中には既にその役割を終え、ただ単に、去年もやってきたからと情性で何の疑問もなく、また見直しを検討することなく、毎年開催され、人

半強制的に寄せればよいという集会が多くあるのではないかと。一般の人には頼みにくいので、町役員が参加して人員をそろえておられる町もあると聞く。動員等による人集めを取りやめることによって市民の負担を軽くするとともに、役目を終えた大会などは廃止するなど経費の節減の上からも、これらのむだな事業について今後全庁的に見直しなどする予定はないのか。

A 大会等の開催は、それぞれ目的をもって開催すべきことは言うまでもありませんが、一方行政だけで推進すべきか、あるいは市民にかかわりのある行事、市民に関心を持ってもらう必要があるれば、市民参画の観点からも積極的に参加していただくように努力することも大変重要で、できるだけ多くの方に参加していただくために、町を単位として出席要請を行ってきた経緯があります。区長さんを通じて依頼をすれば、町の役員さんに出席依頼が集中するということが確かに考えられ、このような事例